

標一本棚

かわいいチコちゃん

水谷 複子

五代目チコは、特別かわいくて賢いインコだが、自分を鳥だと思っていない。私達と同じ物を食べ、同じ事をしたがる。お酒までなめてみる。二人と一羽ではなく三人家族だと思つてゐる様だ。言葉もいろいろ覚えたり、喜怒哀樂も表現出来る。生まれつきの素質もあるのだろうが、仕事が一段落して心身共に余裕が出来た時期に、私が手塩にかけて育てたからかも知れない。

朝、私がカーテンを開けると「お母さんおはよう」と言つて、鳥籠の覆いを外してもらい一日が始まる。ピアノのレッスン中には音楽に合せてさあずつているし、タイミングよ



私とペット

して戻つてくると、私の指に止まり、声もなく口嘴をパクパクさせている。

丸い目が垂れ目になつてゐる様に見えた「まあ、この子は泣いてるんだわ」と私も心底悲しかつた。翌日、私達が和やかに食事をしていると、チコは二人の間をうれしそうに行つたり来たり、るんるんだつた。

でも私、人間が出来てないから、

またまた怒り狂つたら、今度は憎い

相手の足元に身を寄せて怯えている

ではないか。何たる事！これ以上、

チコの前で夫婦喧嘩をすると、私の

剣幕にチコは私を怖がるようになる

かも知れない。育ての親としては、

チコを連れて家を出るか、ひたすら

怒りを抑えて物静かに暮らすか、ど

ちらしてもかわいいペットのおか

げで、これからは私にとつて試練の

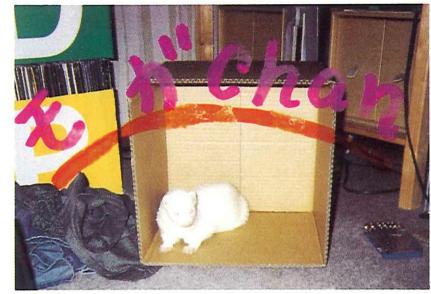
日々となりそうだ。

モガchan
中山 純也

平成十二年九月二日十二時二十分、悲しい別れが突然訪れました。それはペットであるフェレット（モガちゃん）の死です。

フェレットはイタチ科で品種もいろいろあります。モガちゃんの品種はパスピラードアルビノです。

一緒に生活した四年間。思い出がいっぱいあります。散歩の時に犬と喧嘩したり、野良猫に追い駆けられたり、友人達とのキャンプに同行し



たり、いろいろな場所に行きました。亡くなる一週間前から、あまり餌を食べなくなり、寝てばかりいます。

夫婦喧嘩をした時の事。私が大声で怒鳴つたので、チコはびっくりして私の肩から飛び去つた。しばらく

病院に連れて行き、「命に別状ありま

せん」と言われ、栄養剤を注射して

もらつたのですが、日に日に具合が

悪くなり、自分でトイレに行くこと

が出来なくなつてしましました。

そして、この日、仕事中に家族から携帯電話に連絡があり、モガちゃんが亡くなつたことを知らせされました。

汚れも知らず飼い主を信じてきた

モガちゃん。その心と心のつながり

は、私にとつてかけがえのない存在

でした。

障害スズメ「エコ」

和田 芳武

自宅のベランダに来る雀達の中に、右脚中指の欠けている子がいるのに気がついた。冬で餌不足では…と、米粒を撒いてやつた。

一日に何度も来るようになり、そのうち、中指の欠けたその子はガラス戸のサッシに上手に止まり、家の中を覗き、米を催促しはじめた。

私達は、その子がサッシに止まつ

た時だけ米を与えることにして、依

怙最雇の「エコ」と名付けた。

暖かくなつて戸を開けて過ごすよ

うになると、エコは戸の内側の米も、入つて来て食べるようになつた。あ

る日、家中に入つたエコに気付かず戸を開めたところ、出口を塞がれ

たエコはパニックになり、家の中を飛び回り、外に出るまで大騒ぎした。

その後、家の中には入つて来なくなつたが、相変わらず米は催促に來た。

そのうち、子雀を連れて來た。子

雀はピーピー鳴いて翼を半分広げる。

育ての頃、エコは来なくなつた。

エコは来た。

白米だけだと脚気になりそうなので、

するとエコが米粒をくわえ、一粒

やがて冬になっても

エコは来た。

また、一月二十一日午後二時から、レクチャーも行なわれます。

羽音

この夏、南ドイツ・ミンヘン南郊のオーバアマガウ村で十年に一度開催されるキリスト受難劇の観劇を兼ねて、妻と共に約六週間ヨーロッパに滞在した。

キリスト受難劇とは、新約聖書の福音書に記された記事をもとに、キリストの後半生を劇化したもの。オーバアマガウの受難劇は一六三三年に同地で流行したベストの収束を記

り、

ユンヘン南郊のオーバアマガウの受難劇は一六三三年に同地で流行したベストの収束を記

り、

マガウ村で十年に一度開

催されるキリスト受難劇の観劇を兼ねて、妻と共に約六週間ヨーロッパに滞在した。

この日の公演に感激した私達は、

ドイツを一回りした後、もう一度訪

れるに至った。オーバアマガウの受難劇は一六三三年に同地で流行したベストの収束を記

り、

ヨンヘン南郊のオーバアマガウの受難劇は一六三三年に同地で流行したベストの収束を記

り、

マガウ村で十年に一度開

催されるキリスト受難劇の観劇を兼ねて、妻と共に約六週間ヨーロッパに滞在した。

この日の公演に感激した私達は、

ドイツを一回りした後、もう一度訪

れるに至つた。オーバアマガウの受難劇は一六三三年に同地で流行したベストの収束を記

り、

マガウ村で十年に一度開